

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	23000001	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	経済危機と社会インフラの複雑系分析		
研究代表者名 (所属・職) (平成28年3月現在)	矢野 誠 (京都大学・経済研究所・教授)		

【平成26年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(評価意見)

本研究課題は、市場の質をキーワードとする新たな政策パラダイムを構築し、複雑系の視点に立脚して経済危機と社会インフラの問題に理論的・実証的に取り組んでおり、独創性に富んだ貴重な研究である。その研究成果は、国際的な学術雑誌に質の高い論文が報告され、世界の研究をリードしている。複雑系の理論分析については、既に一応の目的は達成していると評価される。複雑な現実の問題に対する難しい挑戦であるが、新たな政策パラダイムに立脚したエビデンス・ベース・ポリシーの構築と推進に向けて、当初予期していなかった幾つかの研究の進展も統合する形で、今後、データ構築と実証分析の研究が進むことが期待される。

【平成28年度 検証結果】

検証結果	平成26年度の研究進捗評価結果にもあるように、本研究は、「市場の質」をキーワードとし、複雑系モデルを取り入れた新たな経済モデルを作るという創造性に富んだ意欲的な研究である。その研究成果は国際学術雑誌にも掲載され、5年という研究期間内に限れば、当初の目的は達成していると思われる。ただし、今後は複雑系モデルの発展並びに新分野の確立に向けて、より一層の努力が必要になることが見込まれる。
A	